

日本人に特化したゲノム解析ツール ジャポニカアレイ[®]v2について ～ 開発経緯と特長のご紹介～

日時	2019年5月27日(月)	14:30 ~ 15:15
場所	遺伝子実験施設 1F	セミナー室
演者	株式会社東芝 研究開発本部	本部企画部 ライフサイエンス推進室 主務 西川 慧(工学博士)

概要

日本人に特化した初の日本人ゲノム解析ツール

- 国立大学法人東北大学東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)が構築した日本人全ゲノムリファレンスパネル(1KJPN)から設計
- 日本人に特徴的な塩基配列を持つ約66万個のSNPプローブを搭載
- Axiom[™] (Thermo Fisher Scientific社)プラットフォームを採用
- 約650万SNPのゲノム情報の再構成(インピュテーション)が可能

ジャポニカアレイ[®]v2ジェノタイピングサービス

- 日本人に固有な形質・疾病等のゲノムワイド関連解析(GWAS)が可能
- 短期間・低コストで解析
→ 品質管理された東芝のライフサイエンス解析センターで一貫した解析を実施
- 従来型ジャポニカアレイ[®]の豊富な解析経験を継承
- 他社マイクロアレイと比較して日本人多型の割合が一番高い
- HLAインピュテーションサービスが利用可能
→ HLA遺伝子型(6座、第2区域)を算出

東芝は2014年12月よりジャポニカアレイ[®]ジェノタイピングサービスを開始し、多数の研究機関や大学等からの受託サービスを実施しております。お忙しい時期とは存じますが、ジャポニカアレイにご興味のある方(すでに他社の解析サービスをご利用の方も大歓迎です)の多数のご参加をお待ちしております。



セミナーに関するお問い合わせ先
e-mail: HdqLS-PSG@ml.toshiba.co.jp



※ジャポニカアレイ[®]は国立大学法人東北大学の登録商標です。